

おおとり会だより

「はばたき寄金」と「おおとり会賞」



同窓会おおとり会会長

大石 邦枝

卒業生の皆様、お健やかに過ごすごですか？
台風、地震、津波と大きな天災に見舞われ、さらに詐欺事件や殺人事件と暗いニュースが続いています。

せめて日々の生活では思いやりの心を持って気持ちの上だけでも豊かに過ごしたいと思えます。
今年の会報では、「はばたき寄金」と「おおとり会賞」についてすこし説明をします。

はばたき寄金

県立大学に平成一〇年一月、学部学生、大学院生、教職員のさらなる発展に寄与することを目的に「静岡県立大学はばたき寄金」が創設されました。学生部長を委員長とし、各学部の評議委員の先生や事務局の課長、次長の方々と運営委員会が組織され、委員会規約、運用細則により運営されています。教職員や一般企業からの寄付金が財源です。同窓生の中にも、大学生を応援しようと毎年寄付をして下さる方がいらっしゃると思います。

会報でもお知らせしておりますが、おおとり会からはばたき寄金に十三年度五万円、十四年度三十万円の寄付をさせていただきました。

おおとり会賞

クラブ、サークル等で年間を通じ、顕著な成績を収めた団体、あるいは顕著な活動を行った

団体に、開学記念の日(四月二十日前後)に「おおとり会賞」の表彰状に添えて現金三万円が贈られます。おおとり会の名の付した表彰を行うことを前提に、十四年度に概ね一〇年間にわたって提供するとしての三十万の寄付がこれに当てられます。表彰団体の選定は自薦、又は教職員の推薦を受け、学生の代表若干名を含めた選考委員会が決定されます。十四年度は防災ボランティア「防々」に、十五年度はバレエ部とジャズダンス部に贈られました(一団体には、はばたき寄金から拠出)。十六年度は該当なしとして繰り越されました。

開学記念の日に「おおとり会賞」が贈られるようになり、学生の間でおおとり会の存在が認められるようになりつつあります。恒例の剣祭でのバザーにも剣祭実行委員の学生の気持ちのよい援助があり、先輩後輩としての交流の場にもなっています。

十七年度は十六年度分と合わせて二団体を表彰する動きがあります。

皆様からの同窓会に対する寄金がこのような形で県立大学の学生を援助しています。先輩としてすこしでも学生のお役に立てることができたらうれしいですね。

はばたき寄金

平成十五年度「おおとり会賞」

受賞団体 その後

食品栄養学科(三回生)

秋田 真梨子

現在ジャズダンス部は二年生十六名、一年生十名の計二十六名で、中島和子先生の御指導のもと活動しています。

部員みんな仲が良く、とてもアットホームな雰囲気です。

主な活動として、剣祭での舞台公演とストリートダンス、年三回昼休みにストリートダンスを行っています。舞台公演では毎年テーマを決め、それをダンスで表現します。テーマは三月から考え始め、一つの舞台を半年以上かけて作っていきます。意見が衝突したり、時には練習が大変だったりもしますが、全ては良い舞台を作るためで、みんなで作り上げた時には、最高の達成感・満足感が得られます。

私達はジャズダンス部に入ったことで大学生活をより充実させたものにでき、すばらしい仲間に出会えました。ジャズダンス部は私達の宝物です。

今後もジャズダンス部をどうぞよろしくお願ひ致します。

※静岡市曲金の静岡医療福祉センターを慰問した記事が静岡新聞に掲載されました。



理事さん 仕事頑張ってマス!

— 理事会 各係 ざっくばらん —

イベント係

11月始めに行われる剣祭（県立大文化祭）に当初は同窓会おとり会がある事を知って欲しいと参加させてもらいました。例年学生の輪に加わっている中で、おとり会を認識してもらえない様になりました。剣祭当日は売店のテント張りがおとり会の面々では大変で手に負えません。学生達が親切に多忙の中を手伝ってくれます。その中で当番幹事達を中心に頑張って手作りのおふるの品々を売ります。大きい鍋いっぱいのおでん、パン、クッキー、赤飯、お惣菜等、とても美味しく学生達にも人気です。

しかし何よりも私達の卒業した大学が失くなり忘れ去られていく中、側面から応援して下さる県立大代々の学長先生のご好意にも支えられ県立大との繋がりをこうして引き継いでいく事が出来るのは本当に有難く嬉しいことです。

今後は是非とも多くの会員が参加し、そして学生達と賑やかな楽しい一日を持って欲しいと思います。

次に総会の件ですが今回色々意見が出まいて総会の会費を五千円から四千円に下げた。みる事に決めました。さて運営は？ 若干心配しつつも盛会に催されることを祈っております。



被服学科（短大一回卒）
竹澤 好美

会報係

同窓会誌「おとり会だより」を年一回、発行しています。副会長一名と各学科理事一名ずつの五名が編集委員です。原則として編集委員は、数年で交代することになっています。会員の絆をより一層強いのにしていくお手伝いが、役割と思っています。第一回の編集会議は、秋頃開きます。テーマを決め、原稿依頼の方を決めるのがなかなか難しいことです。編集委員の人脈だけでは、頑張っていらいっしょやる同窓生からのお便りを頂くのは心細いです。会員の皆様、自薦他薦に関わらず、どうぞ良いお便りを会報係にお知らせ下さい。ご意見、ご感想もありがたいです。

被服学科（大学一回卒）
森 恵美

名簿係

名簿係は各科に一名ずつおり、会員の名簿管理をしています。全科の同窓会名簿は平成四年以来作成しております。現在、有効活用しているとは言い難い。新規に作成するか否かを、幹事会で意見交換を行い、理事会や係で協議した結果、情報漏洩等の問題もあり、現段階で作成・販売するより当面は原簿整理と管理を確実にしようとの見解に至った。

ただ、現状では、各科ごと異なる管理方法をしていて。そこで、平成十七年度中に形式を統一した原簿作成をし、コンピューター管理も考えている。以後は毎年訂正箇所を確認していきたい。その折は幹事さんにはお世話になります。また、会員の皆さんは、異動の際には連絡を忘れぬようお願い致します。

国文学科（大学五回卒）
山本 千秋

小泉保先生

『瑞宝中綬章』受章を祝う会

昭和55年まで、静岡女子大学文学部で教授を務めていらつしやった小泉保先生が、昨年の叙勲で『瑞宝中綬章』を授与されました。これを受けて、12月23日、静岡ターミナルアソシアで、卒業生によるお祝いの会が催され、当時英文科で一緒だった、畑先生、有泉先生、榭先生を始めとして、卒業生50名以上が、お祝いに駆けつけました。

小泉先生からは、女子大当時と変わらぬ口調で、「専門のフィンランド語や、民族叙事詩「カレワラ」に関するお話がされ、しばし会場が懐かしい教室に再現されました。



— おおとり会室 日誌より —

台風22号も静岡は無事でホッとしました。窓を開け、キンモクセイの香りを吸いながら床を掃き、雑巾で水ぶきしました。剣祭が近づいているせいか学生たちが食堂も賑やかでした。

平成十六年十月十二日

卒業して17年、当時はできたての校舎でしたが17年たつとしくりとするものですね。大石先生とお会いでき、ゆっくりとお話しもでき、いい時間をすごせました。

卒業して長い時間を経ても会えば学生の時に戻ってしまいました。

久しぶりに来るとなつかしいものです。当時を思い出しました。知多半島からきました。

平成十七年三月四日

草薙の丘で出会った友

被服学科(大学十二回卒)

石川直美

私の手元に二十七年前の新聞の切抜きがあります。十五センチ四方ぐらいの大きなカラー写真で静岡女子大学の入学式を伝える静岡新聞の切抜きです。写真と共に「入学式は簡素そのもの。女の園の華やかさはみじんもない。」という文が添えられています。確かに世間一般の女子大のイメージとは違う所でした。振り返ればたいへんに恵まれた環境で過ごした4年間であつたと思ひます。友にも恵まれ充実した学生生活でした。卒業後は高校の家庭科教師という職を得て現在に至っています。昨今の学校現場では様々な問題がありますがなんとかがやっつけていけるのも大学での4年間があつてこそだと感じています。

あした庵つれづれ

食物学科(大学二回卒)

武山博子

あした庵は私のウェブサイト(ホームページ)の名前です。全然そんな気は無かつたのですが、住職がサイトを開設した時に、寺の活動のうち私の担当部門はやはり自分で表現しようと思ひ、急ぎよ作りました。セキュリティのこと(寺の活動ですから匿名というわけにはいきません)、更新の面倒さなど気にはなりましたが、情報の発信も収集も自分次第という今の時代、やはりやってみる価値はあると思つたのです。

私がサイトを開いた目的の一つは、この場で交流ができればということでしたが、これは実現していません。パソコンは簡単とは言つても、取っつきにくい方もあるでしょうし、

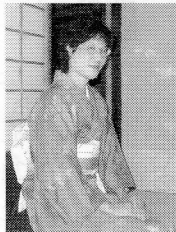
ここ数年、学生時代の仲間六人と年に一回旅行をしています。昨年は金沢に旅行をしました。学生時代にもこの仲間とよく旅行をしたものですが、その当時は時間があつてもお金がないのでどこまでも鈍行列車を利用して出かけました。現在は逆に時間のやりくりがたいへんですが、この旅行だけはと都合をつけ、六人での旅行が実現しています。普段は離れていても大学での四年間を共に過ごした仲間とは今も会えばすぐに学生時代の気分に戻ることができます。

草薙の丘で出会った友と時を経てもずっと友人でいられる幸いを感じています。



さらにインターネット接続となると、セキュリティのことなど、買ったままで使えるわけではありません。

それでも私がパソコンに向かうのは、やはりモニターの向こうに大きな世界が広がっているからです。インターネット以前のパソコン通信では多くの知り合いができ、その人たちから多くの知識を得ることができました。山間地の小寺で一人パソコンを操る身にはまさに「通信教育」、パソコン本体の蓋を開けて機器の増設などができたのも、多くの方のアドバイスのお陰です。いつかネット同窓会を開設しませんか?



あした庵 <http://www.ki.hi-home.jp/ashta/index.htm>

静岡市郷島 秘在寺

みなさん お元気ですか

薩埵峠を越えて

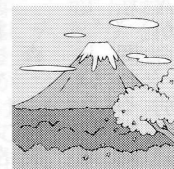
国文学科(大学四回卒)

萩倉あおい

薩埵峠は、興津と由比の中間にある景勝地としてご存知かと思ひます。私は、昨年十一月、国文科同窓会が企画して下さつた「薩埵峠ハイキング」に参加してこの峠を越えました。大津山先生、そして先輩後輩の方々に混じりJR興津駅を先ずは出発、枇杷や蜜柑の畑が続く明るい山道を登つて峠に差し掛かると、右側に穏やかな海、そして眼下には狭い海岸沿いに東名高速、国道、JR東海道本線の緩やかな曲線。そして東には、霞の果てに富士山がチラリとその姿を見せ、まさに絵葉書のような景色でした。

た。資料によると、一六五五年、朝鮮使節の上京にあたり従来の波打ち際の危険な道避け、山側のこの峠を越える道筋が整備されたそうです。しかし、何しろ崖の上の細い山道なので、山賊等が出たら旅人は逃れようも無いのではと思われ、これが東海道の難所の一つと言われたのも頷きました。

また、峠を下り由比の「望嶽亭」では、山岡鉄舟が、勝海舟の密使として駿府の西郷隆盛のもとに赴く途中この宿に匿われた頼末を何かつたり、「あかりの博物館」では行灯の暗さの実験をしたり、更には広重美術館まで足を伸ばしました。歴史や文化に触れ、皆さんもお話ができ、とても楽しい一日だった事は勿論ですが、この約十キロの行程を置いていかれずに歩き通した事が、実は私にとって何よりの収穫だったと密かに思っています。



「喜如嘉の芭蕉布」

英文学科(大学一回卒)

平良美恵子

皆さん、「芭蕉布」という曲をご存知ですか? 以前、NHKの名曲のアルバムにも取り上げられた事があり、沖縄のカラオケには必ず入っています。その芭蕉布作りに関わつて二十数年が経ちました。学生時代には考えもつかなかった私の現在ですが、毎日忙しく、昔を振り返る余裕がないのが残念です。

糸芭蕉の栽培から始めて繊維を採り、糸にして総を作り、染めて織り上げますが、明治以前のやり方を守つており唯一変わったのは、機の形だけです。大変きつい仕事で、草取りや、原木倒し、芹引きと呼ぶ繊維採り作業は年と共に重荷になっています。

私が後継者の立場なので何とか続けておりますが、一体将来はどうなるのか恐ろしくて十年先の事は考えないようにしています。稀少価値という部分で人気があり、芭蕉布の販路は安心ですが、作り手の輪が狭くなる一方で、どうしたら現状維持ができるか、考えると眠れなくなる夜があります。それでもこの布が絶えないように気をとり直して毎日を過ごしています。

マスコミが必ず撮る機械織りは工程のほんの一部にしか過ぎません。芭蕉布は存在感があり魅力のある布ですが、生産は減り続けています。静岡県掛川で作られている葛布も似たような運命の布です。

工房のリーダー平良敏子が義母にあたり、私が後継者の立場なので何とか続けておりますが、一体将来はどうなるのか恐ろしくて十年先の事は考えないようにしています。稀少価値という部分で人気があり、芭蕉布の販路は安心ですが、作り手の輪が狭くなる一方で、どうしたら現状維持ができるか、考えると眠れなくなる夜があります。それでもこの布が絶えないように気をとり直して毎日を過ごしています。



平成16年 台風で被害を受けた芭蕉畑

総会報告

平成十六年度、おとり会総会が平成十六年六月六日、県立大学経営情報学部棟で行われました。

— 講演より —

長谷川 博氏

「復活の風に乗るアホウドリ」

百年程前、北大平洋のいたる所に分布して沢山いたアホウドリが羽毛を取る為の乱獲により、絶滅の危機に瀕している(1951年頃は全部で40羽位)のを知り、何とか増やそうと努力し、先生の関わった28年間でやっと1000羽を越える程になつて来た事を、物静かな、優しい口調で話されました。先生の胸の中には物凄い情熱が秘められている事が伝わって来ました。

苦勞してアホウドリの増殖をされた話には、鳥に懸ける情熱が、ひしひしと感じられました。

私達の生活とは縁の遠い、知らない世界に触れる事ができ、総会に参加して良かったと思えました。

短大八回卒 食物科

山本恵美子



『草薙の丘』の会

●二〇〇四・五・二十三

第14回 草薙の丘の集い

烏丸京都ホテルにて

旧英文科 小泉保先生の講演

『日本語の恩恵表現』を拝聴

講演後の楽しい会食のひと時から、上条彰次先生、和田正平先生、静岡女子大学が当時何を目

指し、女子教育に力を入れていたのかを、お話しして頂きました。



剣祭バザー収益金

平成十六年十月三十一日、恒例の剣祭が、県立大学で行われました。今回も多数の方が、バザー開催にご協力して下さいました。心からお礼申し上げます。

剣祭バザー収益金

五四、一〇〇円

同窓会費に入れさせて頂きます。

平成15年度収支決算

収入の部		自 平成15年4月1日	至 平成16年3月31日
費目	15年度決算	備考	
受け取り利息	69,682円	定額預金	64,010円
おとり会基金	54,000	公社債	5,496
剣祭収益金	44,745		
総会剰余金	146,034		
小計	314,461		
前年度より繰越	13,402,157		
総計	13,716,618		

支出の部		自 平成15年4月1日	至 平成16年3月31日
費目	15年度決算	備考	
会議費	71,061円	役員会・理事会・当番幹事会・編集会議	
印刷費	142,985	おとり会だより・総会案内状・その他コピー代	
通信費	386,770	総会案内発送4,300×80=344,000	
慶弔費	37,155	高嶋先生へ弔花、牛木元会長へ花束	
事務・雑貨品費	4,987	剣祭テント代・事務用品	
小計	642,958		
次年度への繰越	13,073,660		
総計	13,716,618		

(繰越金 内訳)

定額郵貯	4,310,540円	公社債	3,637,730円	書籍	138,000円
通常郵貯	4,951,407	テレフォンカード	4,620	現金	31,363
				合計	13,073,660

上記のとおり相違ありません。

平成16年6月6日

会計監査 河合眞知・濱尾朋子

会計 大石紀子・近藤和恵

平成16年度予算

費目		予算	備考
会議費		80,000円	当番幹事会、理事会、会報編集会議
印刷費		200,000	会報、総会案内状、会議用資料
通信費		400,000	会報・総会案内状・送付、会議の通知
慶弔費		50,000	
事務・雑貨品費		30,000	
予備費		240,000	
合計		1,000,000	

あとながき

今回は何か楽しい企画を...と編集委員の雑談の中では色々出たのですが、結局、おとり会の役員様の活動を皆さんに知って頂くために、具体的に載せるという内容に落着きました。良いアイデアをお知らせ下さい。

原 都子

我が母校は心の中です。けれど、県大の中にある同窓会室へ歩いて行く道の両側からは、若々しいエネルギーが溢れ出ています。あの頃と重ね合わせてしまいます。若さは、意欲から生まれます。人生の春よ、いつ迄も。 森 恵美

いわゆる「子育て」という時期を卒業しつつある私。関わる組織も、子供会やPTAから、別の会に移行中です。おとり会もその一つ。先輩、後輩の皆さんから、色々な情報や、生きる知恵を頂いています。是非、多くの皆さんのご参加を!! 石田 加苗

頼り甲斐のある先輩方のリードのおかげで無事任期を終えることができます。又、楽しくお仕事をさせて頂けたこと、うれしく思います。ありがとうございます。 望月嘉栄子